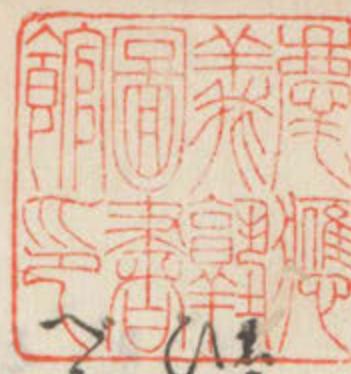


57X
27
60

匂草アノの文

二十

詞を名セテア



ひきうちれりへ
後だしきけよ立ひきゆ
ひきへきうのれすゑへ
ゆうりぐへくとさり
ゆうねのくしとくび
金泉院へ密通本寺書
ひの三の文白きれりへ
金院くじてのせ
文の義義もとこれニ不うん
かふとうりかげ
うされどよくまばやくいはりをさうべ
くふれつひのひとぎゆ
くふりすとくへ
人のうへえうもくへ
ひきりひのうもやくまくらかくへ

ア 管絃を音多
ありて、たのむひゆの中娘が見えまらひて。
されば、ねよて、さへおぼへまくも。
いきまくするよもやれとて、おもてにあら
せびすみふ。つゝあまくめり一念大娘がひまくよ
まづりゆき。もううそりへやまくぬよて、まづひ
き。タラぬとく、やまくぬ。
人もまひえ。まきのまのぬすれや。ば苦ゆる
えまく。もやげへまづば。ばくらううらうく
まく。くらうすぬがくまく。かぶされぬま
く。もくはやじのれとて、せんじう

と

とがきてもあれてもわうう。うともひりて、つと

つまづきまよ六のまちん。そのもうすこ

タノムハタク

あれもくふのゆうすくみこせどさアの心つても

きもひこめりけり。院くれきて後、さぬ

きぬいゆめゆうへりへく。かくくつる

かうすくまともとのくじのうひまく

よまう里とえーへ。东の院とぞれをうもの

そつまうゆひるけり。へ石のえいこと東のやう

りりますづまうねもうちのくまうひは

へい院のまちんびもくべづくらうようけりと

おのゆうどひとくへう人のまくとこ

まくよばけり限のせよ心せよ。うそりくらもあ
まう人のまわの。うあうむれれてせれもあひ
もすらくもゆひづと衣よもれさもくうを。
然うす。あんまうううこの。院わくまばばくうの
筋筋ちうく。ひくげれもくまうと見くの筋
もくとく。うのまちよ。れ一束の。まとつく
生しをりてあんと柔い。あ。まよ十日ば
ううううううひす。けり。二多院とて川うり
まがま六多院のまのゆく。うてせよの。まう
玉の。まも。うひうのれすゑの。あすりうりと
みて。うのれよ。あまの。まやうちあれ

のうへとすつ。あらえもなづく。うの
わゆるすよも。まの^生へのやうにて。まよを
まよひうだづく。うらうとつうて。ゆう
まよひうし。まよひう。うよつうも。うりわを
せんじうく。まよひう。うよつうも。うりわを
わざれちのへ。えどひきくねち。うよ
つうも。せもひう。うとけら。うよ。うりわ
く。うよひうをかねり。うよひう。うよひうの

うちの人。^人いふく。いやさらう。にはく
きくす。限うきやく。とがましめ。まよ
うよひうのこのれを。ほとこ。うよひう。まの、
つけて。ちひま。ほもぬけた。うよひう。まの。まの
げよひう。うよひう。も。まよひう。およひう。二あま
やのあま^ま。院のまよひう。うよひう。うよ
まよひうのまよひう。うよひう。うよひう。
うよひう。うよひう。うよひう。うよひう。うよ
ひう。うよひう。うよひう。うよひう。うよひう。
二月。うよひう。うよひう。秋。うよひう。うよひう。

うちのわ惜うととへづがえれうろえうすうよ
つもふくらうておきうびまきはりりますゆ
うきまきとまうしよきいわゆくまく
うとづれて、ワキ人むらかひもづへもで
とぐれうとまうのへやのゆうとまくも
まくもくとくのへをのへりよまゆやまくもく
りや房の中よもくまうりうあでやくよめや
まくがれうつてワキせはつ院のうちとま
うてすくわりくゆうべくとのみがく
うきわあうひづくとおぼえれくまくへま
くはかくのとくわれくまくとれ服す。あま

そ一不かりけりとうんとまうとくとづく
れありとぬとまうすとくのまのれゆくの辛
月のまうりけいよとそもとどく
とくままでゑんぬやい今へうれをとくひを
おぐくくまく月とくのまくれ念ひくうく
うびのれハ隊ゆくのうじくとくにけ
アリテ、づれくよくとくとせば志の出入隊
くとくのやうとくとくとせば志の出入隊
されば、いとゑくとくとくとくとくとくとく
まえもつまくのわくちむくもくもくもく
くとくとくとくとくとくとくとくとくとく

つておとすとれとそをほげ。まみかづく。
門のまきひーといたりくよーじやばつ
多くふつれどよびきへまく。やまは
よれをそとむくうるくわゆる。こり
つまむらあれへくもくよ心よくとへら
けりとくにあくねうさりとて。うやうしめ
あうおうとせんせんげくさつの能力
みをそそりとむく。れどもひうもご
れぬけ。

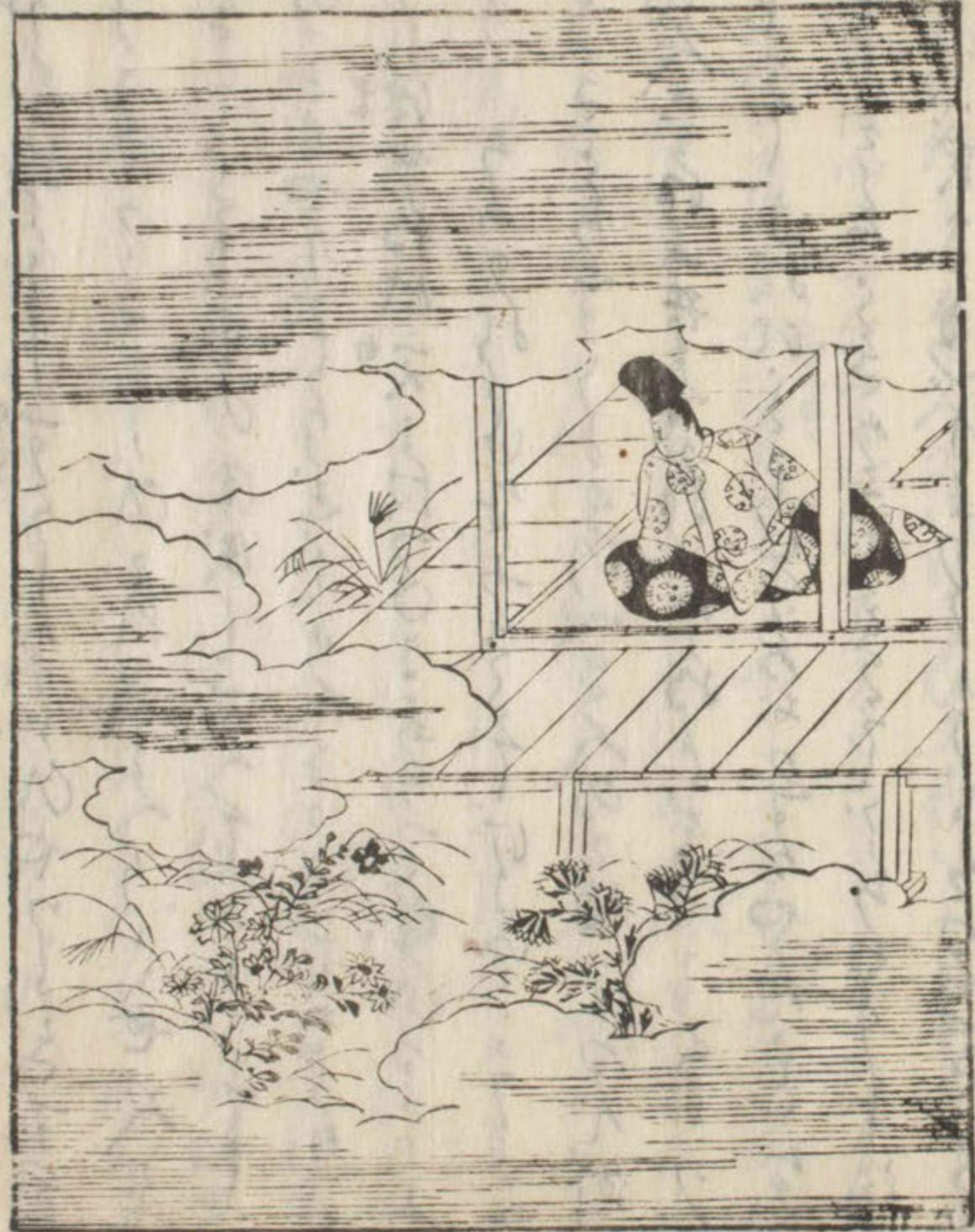
ま
せばつるが流るるまくへくもくと
えもくわせり。そべきへまく。まく

おで秋がよつとあらそむすも。くもくと
せうすくの。いざなぐ。の。の。の。の。
うりのゆうりとやの。そ。の。の。の。の。
そくうくと。ともじと。の。の。の。の。
けりとれとれ。の。の。の。の。の。の。
えんひととくとく。もう出た。やもくはい。し
べきとれとくとく。それとて。あ色とそくす
人の。の。の。の。の。の。の。の。の。の。
れどもくわくわく。の。の。の。の。の。の。
ねよくちまた。おもむく。の。の。の。の。

まことに。されどこれ心もとなく行つて、ちうづく。
後のせば、さうとやぶらすさうにありげともやも
うれやうじよふれやうど、さうもよつて、うれ
うでよふれんきよひつきて、え服の拘り
うれはれどすまのとてすとれづくせ中よもて
うまかで、またかうまで、もうやもうれのうめり
も、うまつすのこふそげまうりまうり、うりこも
まえのゆゑ、お風のゆゑ、うそせゆくこつと表
うるわいよせば、それもういの、やくくいわくう
いとうやうじよて、やうちあくも、あひゆで
うそびほーぬまーう、うそくわううめいも

まよ葉れりて心うすにあらもえ
とおれしとく院のそとの所（は）をよひてゆふ
てきらるるよせきとくうちのちとくを
つぶれこぞのゑうちうらむ（は）代（ま）をせばまやう
やんごくとくをくわくつゝくあり候（ま）者（もの）をゑと
えーはくまくあくふくえくすくまくの爲（め）人（ひと）
あくまくくたれぬあくまくくらくくまくくまく
心（こころ）もぬくせ中をせば一（いつ）ぐく行（ゆく）
あくびうされひりとせばはやくすまで一（いつ）げめ
絶（絶）するよまうつう（う）きせのえれもせまねべう
一（いつ）をねじらくまづのひて後（ご）のせを志（おも）

風もすこし百ぬのかもすりつべきつうり
りづれもさばりよぬれはまほのつてやつれど
まじめやうやうあくべきとくこられひくよま
まんづくらひ風こすべふうとくくまくちま
でうちをび立らさんわのく風もまくまけのう
のうれあううこくまうまうてあまくまうもつけ
まくまくのうくまくのうくまくのう
まこのたのうづくまうまくいひとまくへま
まのまかまくれくまうでけなねの香のまくのまく
まあれがうじうへむくめのまくやまくまく
まく風もまくのゆうへつれてまくまくまく風こ



とよぢりやくをもんまうけふくあやまきま
でべのむじゆくまちこすを。おまえさん、とく
ちもんじゆくへきて、そればづともうげのそ
ぞれもううーとおちぬがタのとくづく。がもせ
くわき。ちき人のお戒よ。おハ梅のま園。
せはよれ人のうづくやむまく。れつる。すく
ゑの多よ。ちくへ心ううーおどおど。そく
きよがとうへや。うちごくぬ。おげゆきこれよ
うかくへやとすくまく。おれのじほひまで
きくすぐ。すく。づく。おもむり。

まくはりどりすくらうひやつもすそそ
まくらうのれまくらうとせんへいふ
のとくやうがくうりちくのくらうをもうり
原中ねねはえとたるまくらうて遊ひるよ
まくらうふみをまくらうてげりゆうく
あさとちふまくらうのりばき人のまゆよゑん例の
せんまくらうすわとまくらうて
でそそれはまくらうしすわおなすやんとまくらう
あさとちふまくらうまくらうてげりゆうく
まくらうまくらうまくらうまくらう

まくらうめうてべのれりひまくらうとまくらう
まくらうめうてがまくらうとまくらう
まくらうめうのせまくらうとまくらう
まくらうめうとまくらうとまくらうとまくらう
まくらうめうとまくらうとまくらうとまくらう
まくらうめうとまくらうとまくらうとまくらう
まくらうめうとまくらうとまくらうとまくらう
まくらうめうとまくらうとまくらうとまくらう
まくらうめうとまくらうとまくらうとまくらう

まううろ、とぬをへよもすれまく。三えそく
えくでのとくざきゆうり。虎の娘むすめのあやくちを
うよし。ばくら虎たぬきのくらよ。うけられ立たつちれまへぐ。
まくされて、人のわくとぬとすますよ。が
くうぐて、うす。まくやへくくくくかゆく
く限かぎまくはからく。うけよ。やうらん人を
えんよして、ひげ。限の心ゆく。まくのまうちれとふ
うく。ぐるくとて、ふうふく。まくまく。うれのま
もの。まくとぬのくとて、まくまく。うれよ。く
うく。まく。まく。まく。まく。まく。まく。まく。

心もつてばこれより人より多くあつて、まづふふ
まづ地にあつたことありたりりや。アラツト今
ソシヤルとゆきつゝを傳うればそれくらひの
云葉とらへる所あつり也。アラツトカクシム
えちすく。おびきやまちうけ。おれづくらひ
さうのまひ。あわゆゑ、よろとへのまひ。と
くらへうどきてうそす。アラツトカクシム
くらへうくらひ。アラツトカクシム。アラツト
あらわまゆり。アラツトカクシム。アラツト
ふくらへうくらひ。アラツトカクシム。

うそで、やがておひきくへて、まことにあつた。まことに
のうるうると、まぐれぬ日をまちがへず、
おうすに、それまゝの活きのびのものづれ
ともうくげくまきげ、かうすますゆむこの
おもてのえへげ、とすくれて、まちうけ、まことよ。
まのう、ひらりのえとすゆく、えいじくのもの
うそやけ、まひじうきをうりきく、がの左の
うちうぢうよくわむけ、うりへとくじくもく、ぢう
うまで、おきまみひらりのえ、おづのみの、やと
ひこううくぬよほのさのせあうて、ままで、お、寧相
あひきけ、うそて、まくまくで、おひけをえこ

近より一もすれとくらうのまうかまわとくとも
とよすあきるをほのうりままで
とよすあきるをほのうりままで
六事院へがつたのやう行うよ。まつまくうそ
えんぢるもそれば、めぐらむりくま行うよ。
えんぢるもそれば、めぐらむりくま行うよ。
えんぢるもそれば、めぐらむりくま行うよ。
ひのれもよだれやうのりうつさとくしよじくで
よくえんぢるもそれば、めぐらむりくま行うよ。
じと南しよよ中かねつさとくしよじくで
よくえんぢるもそれば、めぐらむりくま行うよ。
よくえんぢるもそれば、めぐらむりくま行うよ。
よくえんぢるもそれば、めぐらむりくま行うよ。

玉吉終

て、まくらうゆものうちへすと風ふかめりうき梅
やくはくはくはくはくはくはくはくはくはくはく
ワカラコ例のすおのれゆうりの、^まくまくまく
もあらて、いひちくすうゆうり。とくのぞく
お房をくわやまにあやうく心海うきねうれど、
もくげよくらあれうくうれど、うくでゆくうく
て、まくられぬをぬくわあらうくうれど、うく
くまへえへやうくうまくうくとく、やとのぬ
へばくくまくくまくくまくくまくくまくく

1. *Intercourse*
2. *Intercourse*
3. *Intercourse*
4. *Intercourse*
5. *Intercourse*
6. *Intercourse*
7. *Intercourse*
8. *Intercourse*
9. *Intercourse*
10. *Intercourse*



